石部南学区
まちづくり協議会広報

平成２４年６月１５日発行

第20号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

平成２４年度定期総会が開催されました

大島新会長

小島部長

４月２２日(日)１０時より石部南まちづくりセンターにおいて、定期総会が開催されました。来賓を代表して、市長代理の小島政策調整部長より挨拶をいただいた後、市川前会長より平成２３年度活動についての総括と、各専門部会の部会長より活動報告がありました。引き続いて大島新会長より平成２４年度からの新組織についての説明があり、新組織での平成２４年度活動計画と予算について審議が行われ、すべて承認されました。

会長就任にあたって　　石部南学区まちづくり協議会会長　　大島正秀

石部南学区住民の皆様、こんにちわ

いきなりですが**「まちづくり協議会」**とはどういう活動をする組織か、ご存知でしょうか！実のところ３年間関わって来ましたが、今回会長の職に就きました私自身よく解りません。しかし、解らないなりにも役員全員が活動してきた結果、**「自治会が単独で出来ない事、長期に渡って活動していかなければいけない事、行政の手が届かない事、を自治会、行政と共に協力して活動していく」**のがまち協の責務かと思います。例えば小学校区の通学路の安全確保、行事への参加・協力、高齢者の方々への援護活動（スポーツ及び災害時の避難活動）、福祉施設への日常的な援護活動等々。これらの活動を通じて学区民同志のふれあいコミュニケーションを計って行きたいと思います。

誰でもが気軽にあいさつが出来、気軽に行事に参加して、楽しく明るいまちづくりを住民の皆様、共にやって行こうではありませんか。

24年度　新役員

- 会長　大島正秀(宝来坂区長・学区長)
- 副会長　土居憲昭(石部南)　山本清孝(西寺･丸山)　東野信男(宮の森区長･副学区長)
  黒木寛(石部南区長)　竹内平一郎(西寺･丸山区長)　北村紀嗣(東寺区長)
- 会計　中村淑博(宮の森)　・事務局長　田中幸雄（宝来坂）
- 運営委員長　土居憲昭(石部南)　・運営副委員長　山本清孝(西寺･丸山)
- 監事　竹内　孝(西寺･丸山)　野口隆世(宮の森)

《専門部会》・福祉部会長　森田数雄（東寺）・環境部会長　前谷　光三（宝来坂）
- 生涯学習部会長　鵜飼　淳　(宮の森)　・安心安全部会長　荻田嘉弥（石部南）
- 広報部会長　小向賢太郎（西寺･丸山）

（敬称略）

２４年度まちづくり協議会 組織図

総会

経営会議

会長	１名
副会長	７名（空席１名）
事務局長	１名
会計	１名
運営委員長	１名
運営副委員長	１名
部会長	５名
センター長（オブザーバー参加）	

事務局　会計　監事２名

石部南学区
- 生涯学習部会ー宮の森区
- 安心安全部会ー石部南区
- 環境部会ー宝来坂区
- 福祉部会ー東寺区

西寺・丸山区

運営委員会　部会委員

広報部会　福祉部会　環境部会　生涯学習部会　安心安全部会

参加・協力・連携

各種団体

２４年度の重点取り組み

1. 地域福祉活動の活性化
2. 環境美化・エコ活動の実施
3. あいさつ運動
4. 避難訓練の実施
5. 広報活動の継続と充実
6. 女性部員の増員

部会活動目標

環境部会

〇自然･歴史環境の保全および環境美化運動の推進を住民と一緒に実現する
- 美しい環境づくり　花壇の設置等
- 農産物の販売
- エコ活動の推進、ホタルの住む地域づくり、史跡マップづくり

プランターへ種まき

安心安全部会

〇防災訓練･防災マップ作成等の活動により、安心･安全なまちづくりを目指す
- 防災ワークショップ、防災マップ・ハザードマップ作成
- 防災訓練・自主防災組織･防災研修

生涯学習部会

①教育･学習を通じて協調と調和を図る
②文化芸術の振興･スポーツのとりくみによる地域との連帯感育成
- 文化芸術の発掘調査
- 声かけあいさつ運動、地元学講座の開催、ボランティア支援調査
- グランドゴルフ大会、健康ウオーク開催

福祉部会

〇憩いの場所作り・安全な生活支援を各種団体と協力して実現する
- ふれあい祭り参加
- 高齢者の交流、ふれあい支援
- 命のバトンの定着、活用支援

広報部会

〇広報活動の充実を図る
- 広報紙発行、広報掲示板の維持管理
- ホームページの維持管理、部員のスキルアップ
- 各区への認知活動、外部広報組織との交流

「きらめき湖南事業」採択される

さる４月２１日(土)に行われた湖南市の審査にて〈安心なまちづくり「ハートフルベンチ」～備えあれば　憂いなし〉が採択され、実施が決まりました。

今後は　①かまどベンチ（５基）の設置
②子供達の宿泊体験＆炊き出し訓練（５月～８月）
③ソーラー発電（２基）（９月～１２月）
④防災ふれあいウォーク（３月）　　にむけて準備が開始されます。

住民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

プレゼン中の大島会長

子どもドッジボール大会

5月 20 日(日)9時より石部南小学校において、まち協主催(担当:福祉部会)による「子どもドッジボール大会」が開催されました。全 10 チームが曇り空のもと、元気にボールを追いかけました。お昼には、豚汁とおにぎりを、おいしくいただきました。

森田大会委員長

石部南小稲塚校長

各自治会活動だより

宝来坂区　石部南区

４月２８日（土）「かなかなサロン」が“タケノコ掘り体験”を石部南区サロンと合同で丸山地先で開催しました。宝来坂区は大人４０人・子ども６人、石部南区は１９人が参加しました。

今年は、低温続きでタケノコの生育は遅れましたが、たくさん収穫でき、前日から女性群が下準備をしておいたタケノコ料理をおいしくいただきました。小学校が急遽登校日となり残念でしたが、また違った楽しい交流となりました。

宮の森区

６月３日（日）雨山総合グランドにおいて宮の森自治会恒例の「グラウンドゴルフ大会」が開催されました。当日は雨が心配される空模様の中、昨年を上回る１０１名の皆さんが参加され、プレーを楽しんで頂きました。

東寺区

５月４日（金）１３時３０分「こども神輿」が白山神社を出発、皆さんの“掛け声”が力となり、区内を巡行しました。青年会（４人）育成会（親・子ども３６人）参加。当日は、曇り空で時折雨がぱらつく天候でしたが、枯木のモニュメント設置までの往復に、子どもたちは元気に神輿を担ぎました。休憩場所では、ビンゴによるお楽しみ抽選会が行われ、楽しい１日を過ごしました。

５月３日（木）「子ども春祭り」で、子どもみこしが自治会内を巡行。みんな元気に担ぎました。今回は、「もみじ・あざみ」にも巡行して、寮生との交流を深めました。

宝来坂区

５月１日（火）１２時から「障がい者支援施設もみじ・あざみ」寮生６０人が参加。神輿は石部南小⇒日本精工前⇒加藤写真店前⇒吉姫神社⇒内貴クリーニング店前⇒武田酒店前⇒宝来坂集会所前と巡行。今回は和太鼓(劇団らせん館)、宝来坂ⅳ・ⅴ・ⅵチームが協力。演奏などに盛り上がりました。

THE　TOPIX

５月２１日（月）７時～石部南学区まちづくり協議会主催（共催：石部南小学校・同ＰＴＡ、後援：湖南市天体観測同好会）で“金環日食　観測会”が行われました。☆太陽と月の織りなす天空のリング☆子どもたちと地域みんなで感動をと呼び掛けたもの。今回、九州から関東の広い地域で見られ、ここ湖南市で、この金環日食が見られたのは、１７３０年７月１５日（江戸時代：八代将軍徳川吉宗の時代）以来、実に２８２年ぶりの天体ショーでした。まち協では、当日「日食メガネ」を貸出し、多くの方が利用して金環日食を楽しみました。

湖南市の金環日食

５月１８日（金）午前中は石部小学校、昼からは石部南小学校の５年生が田植え体験を行いました。ふれあい農業いしべ２１のメンバー、ＪＡこうかの職員のみなさんが、植え方の説明と模範技を行った後、事前に小分けしてあった早苗（品種：羽二重もち）を横一列に並んでたんぼに入り、一斉に植えました。子どもたちは初めての経験で、後ろ下がりしながら早苗３～４本を３列づつ上手に植えました。石部南小学校は事前の５月９日(木)には、油粕や化成肥料の散布も体験しました。

子どもたちが日頃から稲の生長を勉強するために、バケツ栽培や通学の途中にある田んぼの観察をお願いします。**今後の予定**　７月１８日頃穂肥えを散布し、順調に生育すると１０月４日頃、稲刈りできます。

連載　歴史の小径

（第１０回）

郷土の歴史を振り返って

竹内利夫氏著

◆石部宿災害（水害）

石部宿では洪水によっても大きな被害をもたらした。天和２年（1682）332 年前大雨による洪水が発生し、この当時では落合川（当時白稚川という）は現在のような天井川ではなかったため、一気に堤防の決壊にまで至らなかったが宿としては大きな被害をうけた。その後、嘉永元年（1848）155 年前（人家＝450 戸ばかり人口＝2000 人程度）6 月に入り連日の強雨にみまわれ、6 月 5 日早朝に落合川が 4 箇所決壊し氾濫のため宿内が大川のようになった。東清水では家屋 7 戸が流出し、各家屋の家財道具が押し流され、松並木も 20 本あまりが流れるとともに、宿内は 1m以上に及ぶ水深につかり宮川でも１０箇所が決壊し２戸の家屋が流出した。山崩れや地すべりが 70 箇所以上で発生した。落合川や宮川等各所の仮復旧が終わろうとして、水もひきはじめた矢先の 6 月 12 日、8 月 5 日にも強雨に見まわれて、仮復旧も水の泡となるなど、度重なる強雨によって氾濫を繰り返し宿場全体が全滅状態に陥った。その後宿もなんとか立ち直り 10 年後の万延元年（1860）4 月 10 日から 5 月にかけて 20 日以上の長雨が続き宿内家屋は床上床下浸水が全家でみられ、いたるところで山崩れが発生した。さらに 6 月に入って青天続きとなったり、長雨によりいたるところで溜水ができて、その水や井戸水や便所が暑さで腐り悪臭が漂い、大変な状況が発生した。

2003　夏

◆石部宿災害（地震）

記録に残る石部宿での地震は宿場として賑わって来た頃の寛文 2 年（1662）342 年前近江を中心に大地震が発生し、200 戸ばかりの全家屋が全壊。この時琵琶湖の水が北に流れ出したといわれ、当時そうとうの大きな地震であった。文政 2 年（1819）6 月 12 日ＡM2：00　185 年前に大地震が発生し、宿内のいたるところに 10～20ｃｍの亀裂が入り 3 から 4mの深さに達し、そこから水が湧き出した。宿場全体に山崩れや家屋の崩壊があった。安政 2 年（1855）江戸大地震（安政大地震）、嘉永 7 年（1854）には近江の国で、安政 7 年（1859）6 月 15 日ＡM2：00　今から 142 年前宿場 450 軒の内、300 軒以上が崩壊や残った家屋は大被害をうけた。

石部宿は水害、火災、地震とたび重なる災害にあい立ち直ったと思ったらなんらかの災害に遭遇し、必死で石部宿を守り育ててくれた先人に、感謝と御礼を申し上げなければなりません。

2004　春

石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス
http://www.ishibe-minami.net/

メールアドレスは　info@ishibe-minami.net